

# コンクリートに関する品質基準・試験方法の解釈研究委員会(JCI-TC-095A)

## 第1回本委員会 議事録

1.日時 : 平成21年7月31日(金) 17:30~20:00

2.場所 : (社)日本コンクリート工学協会 第5会議室

3.出席者 : 11名(下線は欠席者)

阿部道彦、鹿毛忠継、渡辺博志、宮澤伸吾、上野敦、鈴木澄江、伊藤康司、瀬古繁喜  
永山勝、加藤絵万、竹田宣典、西田朗、陣内浩、渡邊賢三、河野政典、橋爪進、吉本  
徹、大野吉昭(議事録)、渡部隆(事務局) (敬称略)

4.配付資料 :

- 21本-1-1 : 平成21年度第1回本委員会議事次第(案)
- 21本-1-2 : JCI研究委員会資料(2009年度新規専門委員会)
- 21本-1-3 : 委員会委員名簿(案)
- 21本-1-4 : 活動計画(案)

5.議事内容 :

(1)委員自己紹介 :

各委員より自己紹介がなされた。

(2)研究委員会趣旨説明 :

資料1-2と1-4に基づき、本研究委員会設立の経緯・目的と活動計画の説明がなされた。  
概要は以下の通り。

- コンクリートに関連する品質基準や試験方法が規定された経緯・目的の把握
- これらに関連する技術資料または解説書のとりまとめ
- 品質WGと試験法WGの設置
  - >WG方針を幹事会・本委員会で再検討後に実施する。なお、WG主査の選定については、鹿毛委員と渡辺委員で協議を行うこととした。

品質WG : コンクリートに使用される材料の品質規格のとりまとめ

試験法WG : コンクリートに関連する試験方法のとりまとめ

なお、本研究委員会は本年度より2年間で行われ、研究委員会の成果は、JCI大会でパネル展示や報告書などにより報告を行う。

(3)活動内容に関する検討 :

- 調査検討の範囲はJIS規格を主対象とし、規格に関連するJASS5や標準示方書における基準の調査を行うことが提案された。またJIS規格でも主にJIS A5308を中心として調査を検討することも提案された。
  - >調査対象の選定にあたって、「重要度」以外に、「難易度」も考慮すべきではないか。
  - >JISA5308の規格の変遷については、吉兼氏(宇部生コン)も取り纏めのための作業をされているとの情報がある。
  - >骨材および海砂関連規格(JISやJASS5等)について、真野氏(JTCCM)が取り纏めを行ったことがあるので参考にされたい。
  - >JISの変遷を整理するだけでも価値がある資料となり得る。さらに、JASS5等の変

遷と関連付けて整理できるとよい。

- 調査内容の質や作業量により品質 WG と試験法 WG の委員の調整や追加を検討する必要がある。また、委員個別に調査項目を定めて実施する方法も提案された。
  - ＞WG の作業量に応じて、副主査を置くことも検討する。
  - ＞具体的な調査方法として、「1 規格／1 人」を担当とする等の方法がある。
- 調査を行うにあたって、調査様式（フォーマット）を作成することが提案された。
- 品質基準の経緯を調査するにあたり、JIS 規格は、ASTM 規格が基になっていることも多いため、調査範囲の検討が必要である。
- ISO 規格（特に ISO1920 シリーズ）との整合性は、調査範囲が広く、他研究委員会（ISO/TC71 対応小委員会、WG1 堺先生）で行われている。そのため、本研究委員会での調査対象として、ISO 規格との整合性に関しては範囲外とした。
- JIS 規格の変遷を調査することで、特性値の変遷を把握出来る。ただし、過去の JIS では解説が少なく、特性値を変えた理由を調査するためにはヒアリングの実施も必要である。
- ヒアリング・アンケート調査等は、内容を精査した上で次年度に実施することでもよいかもしれない。なお、調査にあたっては、規・基準の制定や当時研究に携わった先生方に意見を伺うことも必要になるため、具体的なヒアリングの方法についても、よく検討しておく必要がある。
- コンクリートに関連する JASS5 や標準示方書のあり方については、本研究委員会終了後、継続検討課題として提案を行うことも想定している。

#### (4)成果に関する検討：

- 本研究委員会は、シンポジウム開催や論文投稿というよりも、技術解説書等の発行を目標として検討したいと考えている。
- 技術解説書等を JCI の出版物とする場合、別途委員会を設置し検討する必要もあり、その場合は事務局と相談する必要がある。なお、出版物の読者の想定についても検討が必要となる。
- 最終成果のイメージあるいは成果物に関しては、幹事会で再検討を行うこととした。

#### (5)次回以降の委員会について：

- 次回は、9月15日（火）17:30より本委員会を開催することとした。
- 幹事会は、9月8日（火）17:30～、開催予定。
- なお、本委員会は年4回を予定しており、幹事会をその前後に開催する事としている。また、各WGは、委員会間に2回程度実施する予定としている。

以上